

令和元年度 青葉小学校

青葉小だより

学力特集号

令和元年11月29日
北九州市立青葉小学校

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

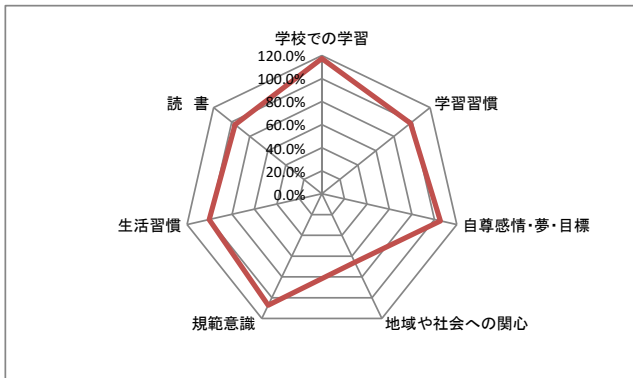
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	「言語についての知識・理解・技能」や「話す・聞く」能力に関する問題は、比較的正答率が高い。「読む」「書く」に関する問題で、正答率が低くなる傾向がある。短答式よりも記述式の問題を苦手とする児童が多い。無答率は全国平均と比べて非常に低い。	上回っている
算数	「合同な図形」、「棒グラフ」に関する問題の正答率が低い傾向である。また、無答率は全国平均値より低くなっている。 説明に合うように図形の面積の求め方を考え、答える問題の正答率が高かった。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

授業改善、家庭学習の啓発に取り組んできたことで、「学校での学習」「学習習慣」の数値は維持・上昇傾向にある。地域行事に進んで参加している児童は、例年に比べてやや少なかった。読み聞かせや読書週間の取組を継続させていることで、読書に親しむ児童の割合は少しずつ増えている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 学力向上に関する職員会議の定期的な実施(学期1回)
- 日々の授業改善に関わる研修の実施
 - ・主体的、対話的で深い学びになる授業づくりに関する研修。(全職員・・・主題研究授業及び協議会時) ・若年研修。(若年リーダー、若年教員、学力向上推進教員・・・実施中)
- 国語の「読む力」を高める取組
 - ・文章の要旨、要点を読み取り、文章に書く問題の実施(高学年担任)
 - ・国語や道徳の時間など、文章を読み、課題に応じて自分の考えを書く授業の充実(学級担任・教務主任)

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 宿題のスタンダード化
 - ・全学年で、自主学習を推進する。(全校)
 - ・全学年に「家庭学習の約束(1年生～6年生)」を配布し、保護者の家庭学習に対する意識を高める
 - 1, 2年生・・・30分以上 3年生・・・40分以上 4年生・・・50分以上 5, 6年生・・・1時間以上という基準を提示
 - 各学年ごとに家庭学習の約束を配布し、「心構え、家庭学習のポイント、身に付けたい力、具体的な取組例」を周知する(全校)
 - ・漢字・計算等の宿題を出し、基礎的・基本的な内容の定着を図る(各学年)
- 長期休業期間中の宿題の学校統一
 - ・夏休みは、B4両面30枚程度(表:国語、裏:算数)程度(全校)
 - ・冬、春休みは、B4両面10枚程度(表:国語、裏:算数)程度(全校)
 - ・採点は保護者が行い、子どもの学力状況を把握してもらう
- 全国学力・学習状況調査の課題と取組等を保護者へ周知
 - ・学校便り、学校HP、学年・学級通信等で、児童の学習状況等を発信する(校長・教頭・教務主任・各担任)